



～外来リハ通信～

2014.07

第7回リハビリテーション技術講習会を
7月5日（土）13：30～16：50に開催しました。

今回のテーマは、

「促通反復療法～その後の進歩と症例への適用～」

で、講師は、促通反復療法(川平法)の開発者である鹿児島大学名誉教授の川平和美先生でした。

川平先生は、第1回、第4回の本技術講習会でも講演と実技指導を行っていただいていたので、今回で3度目の講習会でした。そこで、今回は、

- 1) 川平法のその後の進歩に関するご講演
- 2) 参加者からの症例提示と討論、コメント
- 3) 治療実技デモ

の、3本立てで、講習会を実施しました。

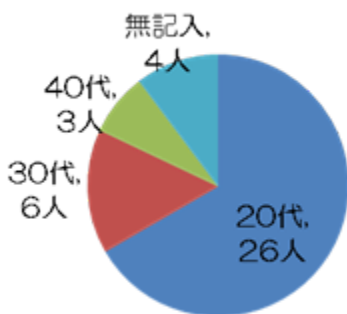


促通反復療法（川平法）は、患者さんに誤った運動の学習をさせることなく、最も効率的に意図した運動を実現させ、その誤りのない運動を繰り返すことによって、運動の出力に必要な神経路を形成、強化する神経路強化的運動療法です。

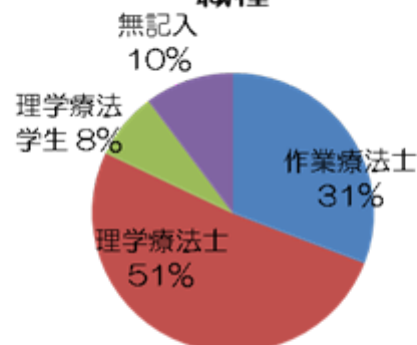
症例検討では、胎児性水俣病や慢性期脳血管障害の症例に対して振動刺激と川平法を併用して痙縮に効果をあげた例が提示され、さらなるリハ効果をあげるための具体的な方法について有用なコメントをいただきました。

参加者は42名で、理学療法士・作業療法士を中心に、比較的若いセラピストが多く、リハの知識や技術習得への高い関心がうかがえました。

参加者の年代



職種



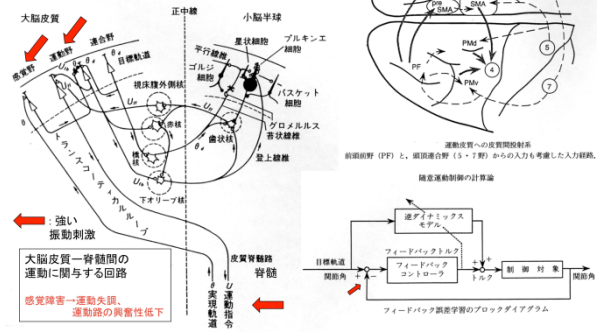
持続的低周波電気刺激の併用 —治療効果の増大—

適応

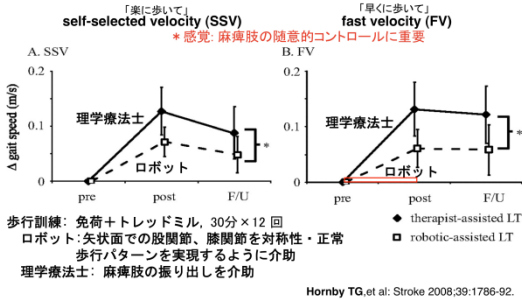
1. 促進反復療法: 神経路の感度増大
2. 歩行訓練: 中殿筋、大腿四頭筋、前脛骨筋...
3. 反復起立訓練: 大腿四頭筋、中殿筋...
4. 麻痺肢の自主訓練: 上肢、手指伸筋...
5. 疼痛緩和: 痛む関節の自他助運動



訓練前のバイブレーター → 麻痺と感覚障害の改善 *不全脊髄損傷例で著効



慢性期脳卒中例への歩行訓練の効果 理学療法士VSロボット



講演では、促進反復療法に電気刺激や振動刺激、アシストロボット等を組み合わせることにより効果的な促進が得られることを定量的な評価法で示していただきました。対象者に適した刺激法を川平法と併用して、より効果的にテーラーメイドのリハビリテーションを行っていくことが重要になってきました。

当初はご講演と症例検討、治療実技デモという内容での開催予定でしたが、川平先生のご厚意により実技指導も交えての講習会になりました。1時間半の実技講習では、肩関節、指、下肢、歩行等の運動について川平法を実演していただき、川平先生自ら参加者の間を回られ、マンツーマンでその技術を指導していただきました。



実技講習終了後も参加者の質問に丁寧にお答えいただき、また実際の臨床の場でのリハビリテーションについても具体的にアドバイスしていただくなど、大変有意義な講習会となりました。

参加してくださった皆様の声はアンケート結果をご覧ください!